

平成27年度

秋田県立大学部局間研究交流フォーラム

主催：秋田県立大学地域連携・研究推進センター

～ 新たな共同研究の可能性をさぐる ～

本学が進める重点プロジェクト研究及び、各部局（システム科学技術学部、生物資源科学部、総合科学教育研究センター、木材高度加工研究所）の研究紹介を行います。

本学でどのような研究が行われているのかを知っていただく良い機会となります。また、新たな共同研究の可能性をさぐるキッカケにさせていただくことをテーマとして開催しますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

【プログラム】

- I 開会挨拶 (13:00～13:05) 小嶋郁夫 研究・地域貢献本部長
- II 本学の研究方針 (13:05～13:25) 小間 篤 理事長・学長
- III 最終年度の重点プロジェクト研究の紹介 (13:30～14:00)
13:30～14:00 「新規な澱粉をもつ米の開発とその新規需要創出」
生物資源科学部 生物生産科学科 藤田直子教授
- IV 各部局研究紹介 (14:05～17:35)
- システム科学技術学部
14:05～14:35 「液晶素子を用いた複屈折イメージング装置による生体物質の観察」
電子情報システム学科 能勢敏明教授
14:40～15:10 「経済学はどう生かす？」
経営システム工学科 嶋崎善章准教授
- 休憩 (10分)
- 生物資源科学部
15:20～15:50 「日本酒の品質に関与する原料米由来成分の解析」
応用生物科学科 橋爪克己教授
15:55～16:25 「ICTを活用した稲作農業の新たな展開」
アグリビジネス学科 藤井吉隆准教授
- 総合科学教育研究センター
16:30～17:00 「相対論の思想と他分野との関わり」
総合科学教育研究センター 宮本雲平准教授
- 木材高度加工研究所
17:05～17:35 「新大型木質材料・スギCLT（直交集成板）の開発」
木材高度加工研究所 林知行教授・所長
- V 閉会

平成27年

6月 5日 (金)

開会 / 13時 (受付 / 12時30分～)

会場 / 由利本荘市文化交流館

「カダーレ」大ホール

住所 / 由利本荘市東町15 (JR羽後本荘駅前)

入場無料

※裏面の参加申込書により申込ください。

■お問い合わせ■

秋田県立大学地域連携・研究推進センター 〒010-0195 秋田市下新城の中野字街道端西241-438

TEL: 018-872-1557 FAX: 018-872-1673 E-mail: stic@akita-pu.ac.jp

研究紹介概要

重点プロジェクト研究（13：30～14：00）

「新規な澱粉をもつ米の開発とその新規需要創出」

（生物資源科学部 生物生産科学科 藤田直子教授）概要：我々がこれまで秋田県立大学で開発してきた米は、これまでの米と全く違うユニークな澱粉構造、性質をしています。米どころ秋田で全く新しい米澱粉の利用、例えば、ダイエット米、食感改良剤、工業利用等の試みについて、お話しします。

各部署研究紹介（14：05～17：35）

システム科学技術学部	<p>「液晶素子を用いた複屈折イメージング装置による生体物質の観察」 （電子情報システム学科 能勢敏明教授） 概要：市販の偏光顕微鏡の光学系に小型の液晶素子を組み込み、PCとの組合せによる簡単な構成で高精度な複屈折イメージング装置を実現しました。装置の動作原理と共に、実際にいくつかの生体物質を観察した事例について紹介します。</p>	<p>「経済学はどう生かす？」 （経営システム工学科 嶋崎善章准教授） 概要：「経済」という言葉は身近で、経営と同義語のように感じる人も多いかと思えます。しかし、学問としての「経済学」とは本当はどのようなもので、何に役立っているのでしょうか。研究例を交えながらわかりやすく説明します。</p>
生物資源科学部	<p>「日本酒の品質に関与する原料米由来成分の解析」 （応用生物科学科 橋爪克己教授） 概要：原料白米に由来し日本酒の品質に深く関与する化学成分について、醸造上の意義の解明、成分のレベル制御に繋がる知見の獲得を目指して行っている研究の成果を紹介します。</p>	<p>「ICTを活用した稲作農業の新たな展開」 （アグリビジネス学科 藤井吉隆准教授） 概要：情報通信技術が著しい発展を遂げる中、稲作農業においてもICT活用が進展しています。稲作農業におけるICT活用について、営農活動の分析、技能伝承など研究開発への取り組みについて紹介します。</p>
総合科学教育研究センター	<p>「相対論の思想と他分野との関わり」 （総合科学教育研究センター 宮本雲平准教授） 概要：相対論は時間・空間に関する理論です。原子力や宇宙物理への応用が知られていますが、相対論は本来すべての自然科学と不可分であり、応用も広い（べきです）。講演では相対論の思想と他分野（理学・工学・教育・農学？）との関わりについて説明します。</p>	<p>木材高度加工研究所 「新大型木質材料・スギCLT（直交集成板）の開発」 （木材高度加工研究所 林 知行教授・所長） 概要：新しい大型構造用木質材料として各方面から大きな期待が寄せられているスギCLT（直交集成板）のわが国における開発の現状と、木材高度加工研究所における取り組みについて解説します。</p>

つぎの参加申込書にご記入の上5月29日（金）までにFAXまたはE-mailでお申し込みください。

参加申込書	秋田県立大学 地域連携・研究推進センター FAX：018-872-1673 E-mail：stic@akita-pu.ac.jp	
団体（企業）名等		
ご連絡先電話番号等	TEL：（ ） — FAX：（ ） —	
参加者氏名	所属部署・役職	通信欄

●上記の申込書に記載された個人情報は、受付整理や本フォーラムに関する諸連絡にのみ利用し、それ以外の目的には使用しません。